

# 被害者支援シンポジウム2017 「悲しみに寄り添う」

大切な人を失った  
深い悲しみに向き合うなかで、  
どのように生きる意味をつかんだのか  
そして、その悲しみに寄り添うということは…  
ご遺族の声に耳を傾けてください

参加費  
無料

定員150名  
(先着順)

**【日時】** 2017年11月18日(土)  
13時30分～16時30分 (開場13時)

**【場所】** 大阪市立男女共同参画センター中央館  
(クレオ大阪中央)  
4階セミナーホール (詳細は裏面をご覧ください)

## 【プログラム】

**第1部** 基調講演「悲しみを生きる力に～被害者遺族からあなたへ」  
講師 入江 杏 (世田谷一家殺害事件被害者遺族、上智大学非常勤講師、  
世田谷区グリーフサポート検討委員)

**第2部** パネルディスカッション「悲しみに寄り添う」  
パネリスト / 入江 杏  
岩切 昌宏  
(大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター准教授、精神科医)  
進行役 / 井上 尚美  
(大阪被害者支援アドボカシーセンター支援総括責任者)

【共催】 大阪府、大阪市、堺市、大阪府警察  
【後援】 大阪府被害者支援会議、大阪弁護士会、  
大阪府臨床心理士会、  
大阪私立中学校高等学校連合会



Supported by  
**日本財團**  
THE NIPPON FOUNDATION



お問い合わせは

大阪府公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体 認定特定非営利活動法人大阪被害者支援アドボカシーセンターまで  
**☎06-6771-7600**

## 講師・パネリスト プロフィール

### 入江 杏



上智大学非常勤講師、世田谷区グリーフサポート検討委員。

「ミシュカの森」主宰。「えんじにあす」代表取締役。

国際基督教大学 (ICU)卒業。2000年末、8年間の英国生活から帰国した途端に、世田谷一家殺人事件により、隣地に住む妹一家四人を失う。犯罪被害の悲しみ・苦しみと向き合い、葛藤の中で「生き直し」をした体験から、「悲しみを生きる力に」をテーマとして、行政・学校・企業などで講演・勉強会を開催。「ミシュカの森」の活動を核に、悲しみの発信から再生を模索する人たちのネットワークづくりに努める。

著書に「悲しみを生きる力に～被害者遺族からあなたへ」(岩波書店)、絵本「ずっとつながってるよ～こぐまのミシュカのおはなし」(くもん出版)他多数。

### 岩切 昌宏

1987年滋賀医科大学卒業。精神科での研修後、救急病院でのレジデント、小児病院での精神科、成人の精神病院を経て、1997年に大阪教育大学教養学科発達人間学講座講師に。2001年6月の附属池田小学校事件からメンタルサポートチーム活動を経て、2003年に学校危機メンタルサポートセンターに移籍。専門分野は、災害精神医学、学校精神保健など。現在、日本トラウマティックストレス学会副会長、大阪被害者支援アドボカシーセンター理事。

### 大阪市立男女共同参画センター中央館(クレオ大阪中央)へのアクセス



住所:〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25

電話: 06-6770-7200

○地下鉄谷町線四天王寺前夕陽ヶ丘駅1・2番出口から北東へ徒歩約3分

○大阪市営バス「天王寺警察署前」または「上本町9丁目」から徒歩約7分